

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年7月13日

JAMA: ワクチンを打つほどロングコロナリスクが低下していた：
ファイザービオンテックワクチン接種とロングコロナリスクの関連：
ヘルスケアワーカー軽症感染者対象

【松崎雑感】

コロナに感染した後、軽症で済んだ方々に思いがけない体調不良が数か月続くことがあります。これをロングコロナと言います。単なる「病疲れ」と思われていましたが、最近では、新型コロナウイルスの「残党」がゲリラ活動をしているのではないかと考えられるようになりました。という事で、新型コロナウイルスワクチンを3回しっかり打つことで「残党退治」をすることが、ロングコロナを減らすうえで効果があると考えられています。JAMAが紹介した論文は、そのようなことを示しています。

ワクチンを打つほどロングコロナリスクが低下していた：ファイザー・ビオンテックワクチン接種とロングコロナリスクの関連：ヘルスケアワーカー・軽症感染者対象

Azzolini E, Levi R, Sarti R, et al. [Association Between BNT162b2 Vaccination and Long COVID After Infections Not Requiring Hospitalization in Health Care Workers](#) [published online ahead of print, 2022 Jul 1]. [JAMA](#). 2022;10.1001/jama.2022.11691. doi:10.1001/jama.2022.11691

要旨

新型コロナワクチン接種回数とロングコロナリスクの関連を調査。

2560名のヘルスケアワーカー対象。749名が感染（89名無症状）し、外来治療を受けた。そのうち229名（31%）がロングコロナと診断された。

ロングコロナ発病リスクは、ワクチン未接種、1回、2回、3回接種でそれぞれ、41.8%、30.0%、17.4%、16.0%だった。

高齢、高BMI、COPD歴、アレルギー歴ありでもロングコロナリスクが増加していた。

基礎疾患のないワクチン未接種女性でコロナ第一波で新型コロナに感染した人々を基準とすると、ロングコロナリスクは、男性で0.65、ワクチン2回接種で0.25、3回接種で0.16と有意に低下していた（次スライド参照）。

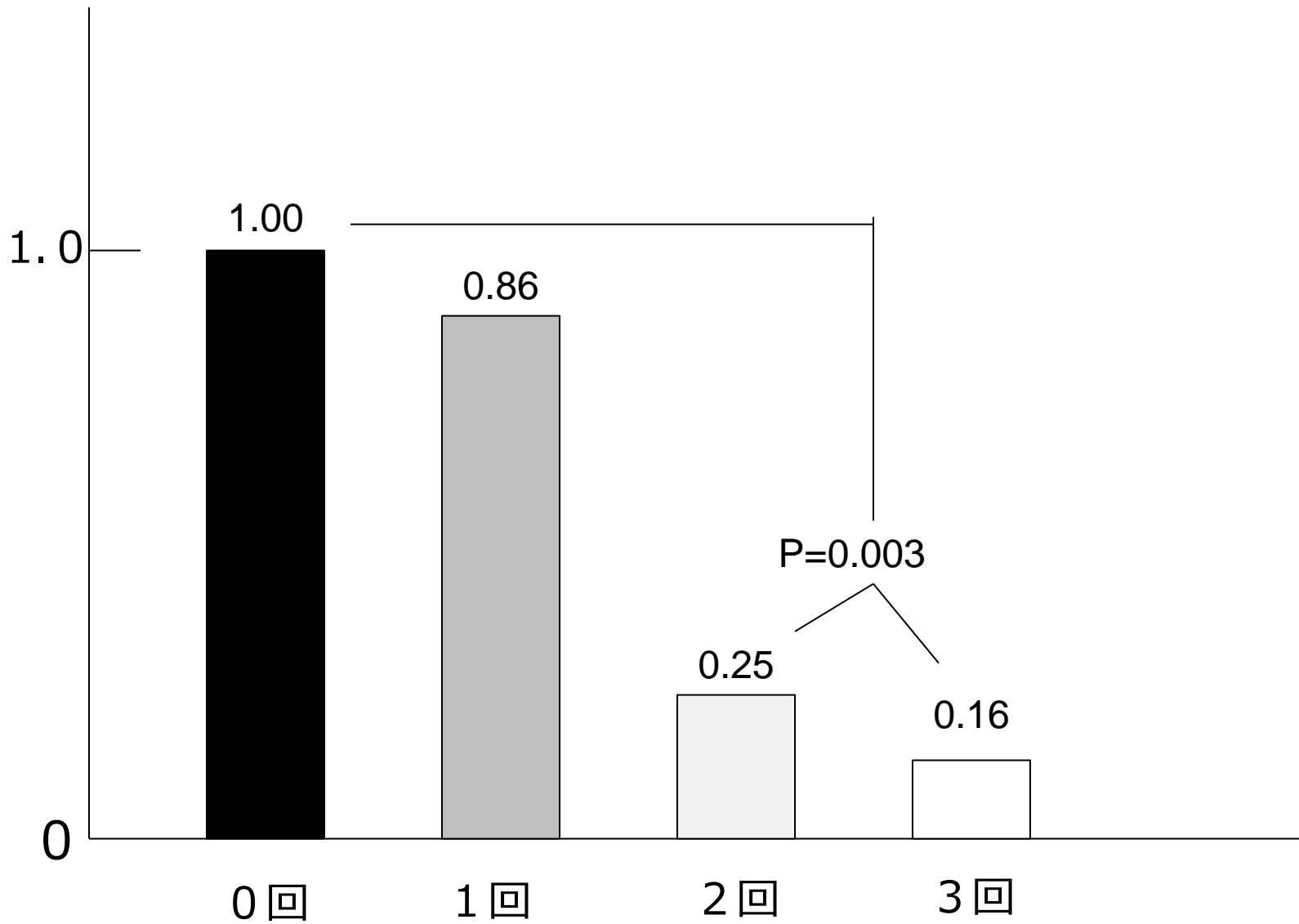
また高齢で1.23、アレルギー歴ありで1.50と有意に増加していた。

考案

入院に至らない軽症の新型コロナ感染ヘルスケアワーカーでは、ワクチン未接種者と比較して、ワクチン2回接種、3回接種で有意にロングコロナリスクが低下していた。

ただし症状の種類と持続期間を自己申告で収集した点がこの調査の欠点である。

ロングコロナリスク



新型コロナワクチン接種回数